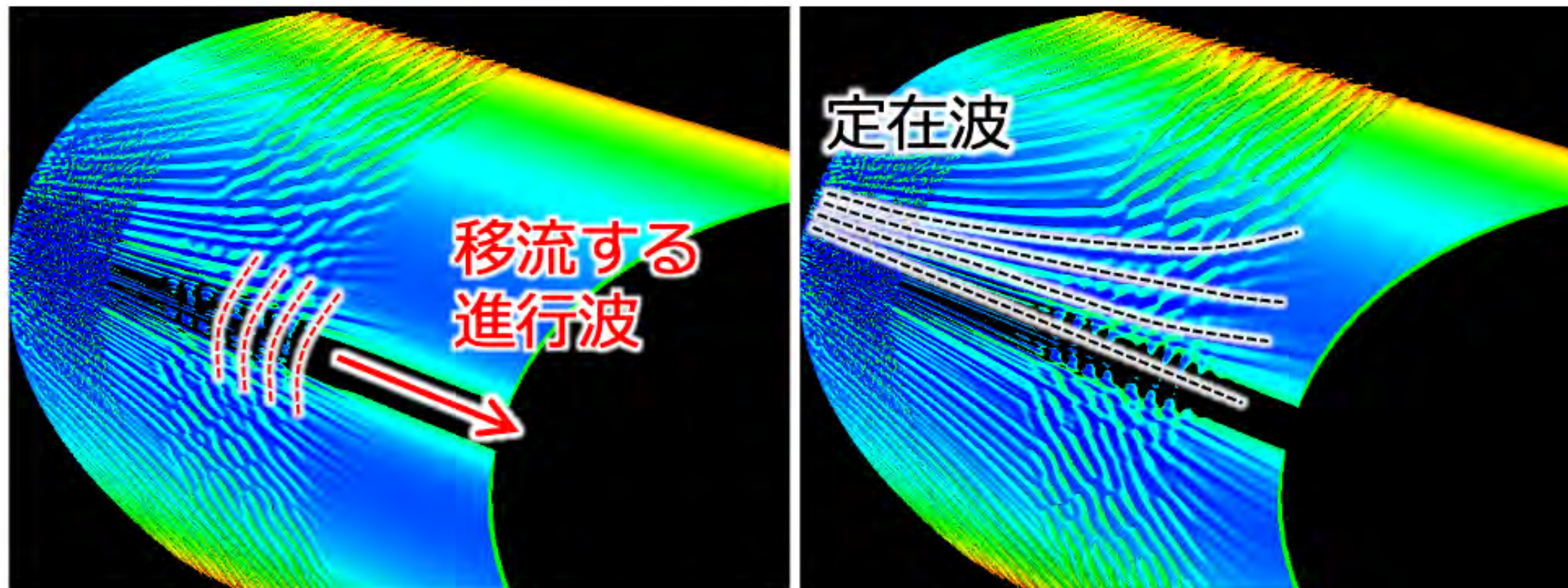


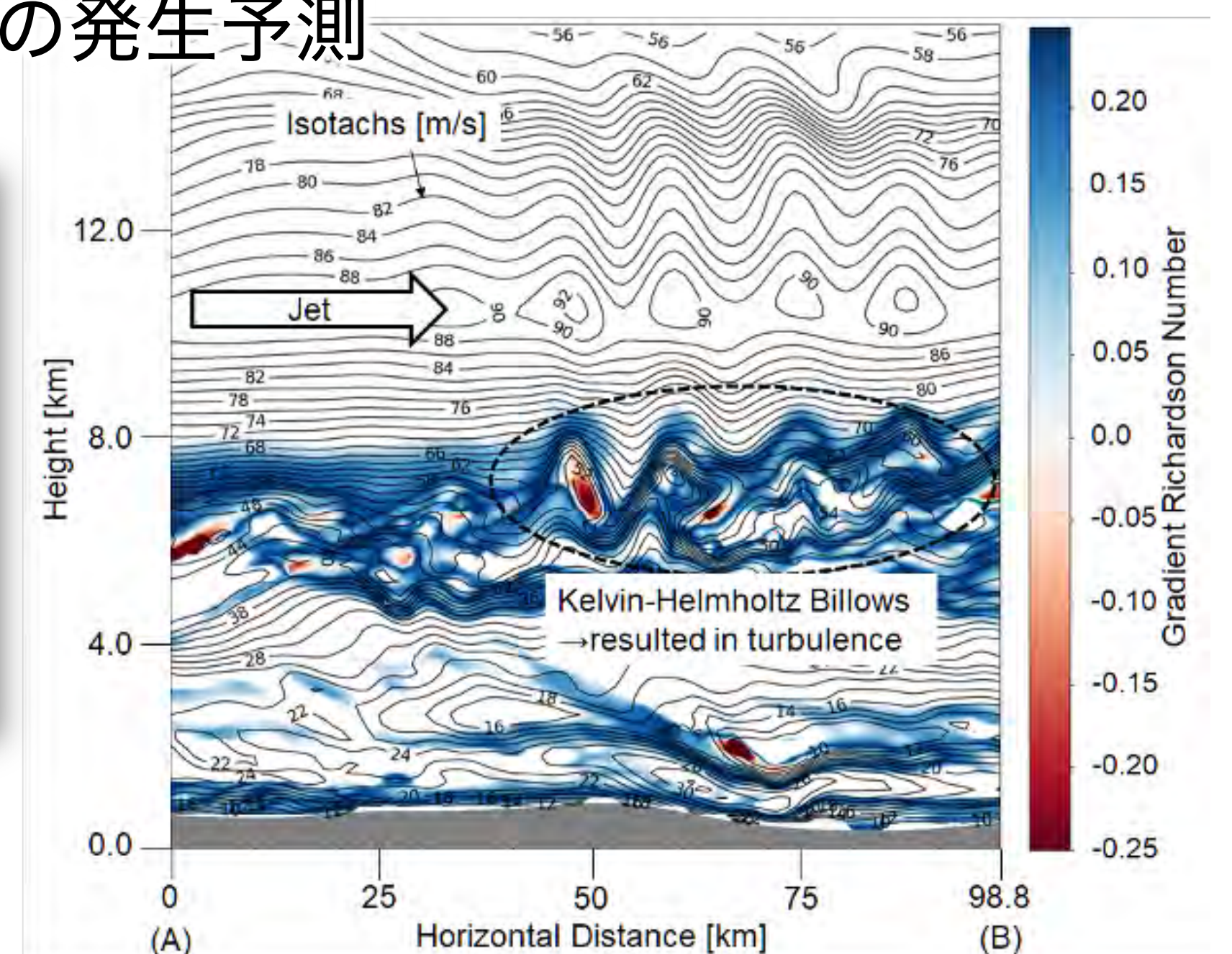
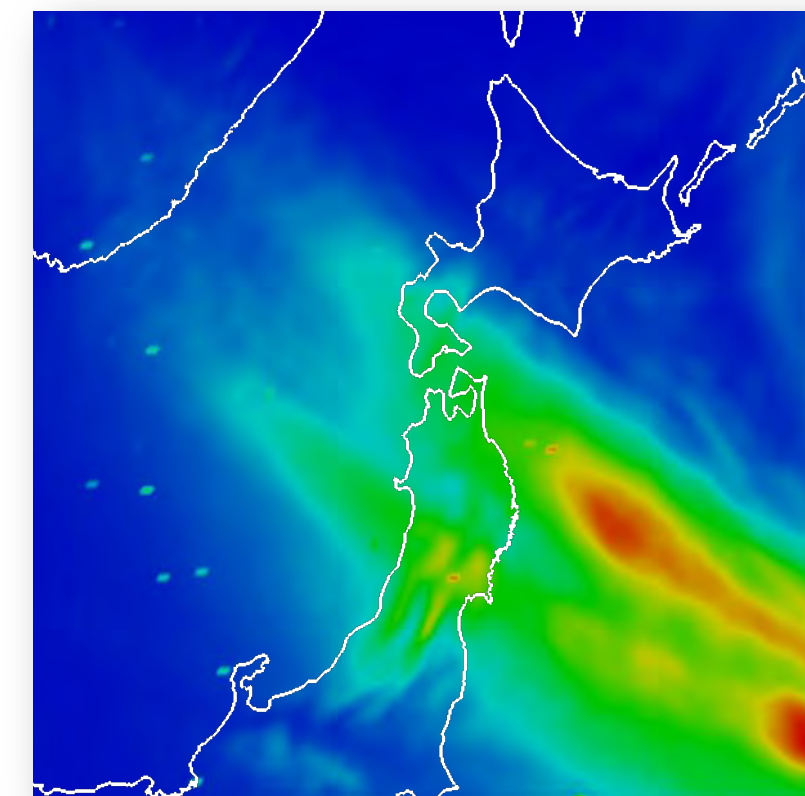
数値流体力学／データ同化

大型旅客機後退翼の層流化技術の開発を東北大-JAXA-MHI共同で実施中。そのほかデータ同化技術による数値予測手法の開発なども行っています。

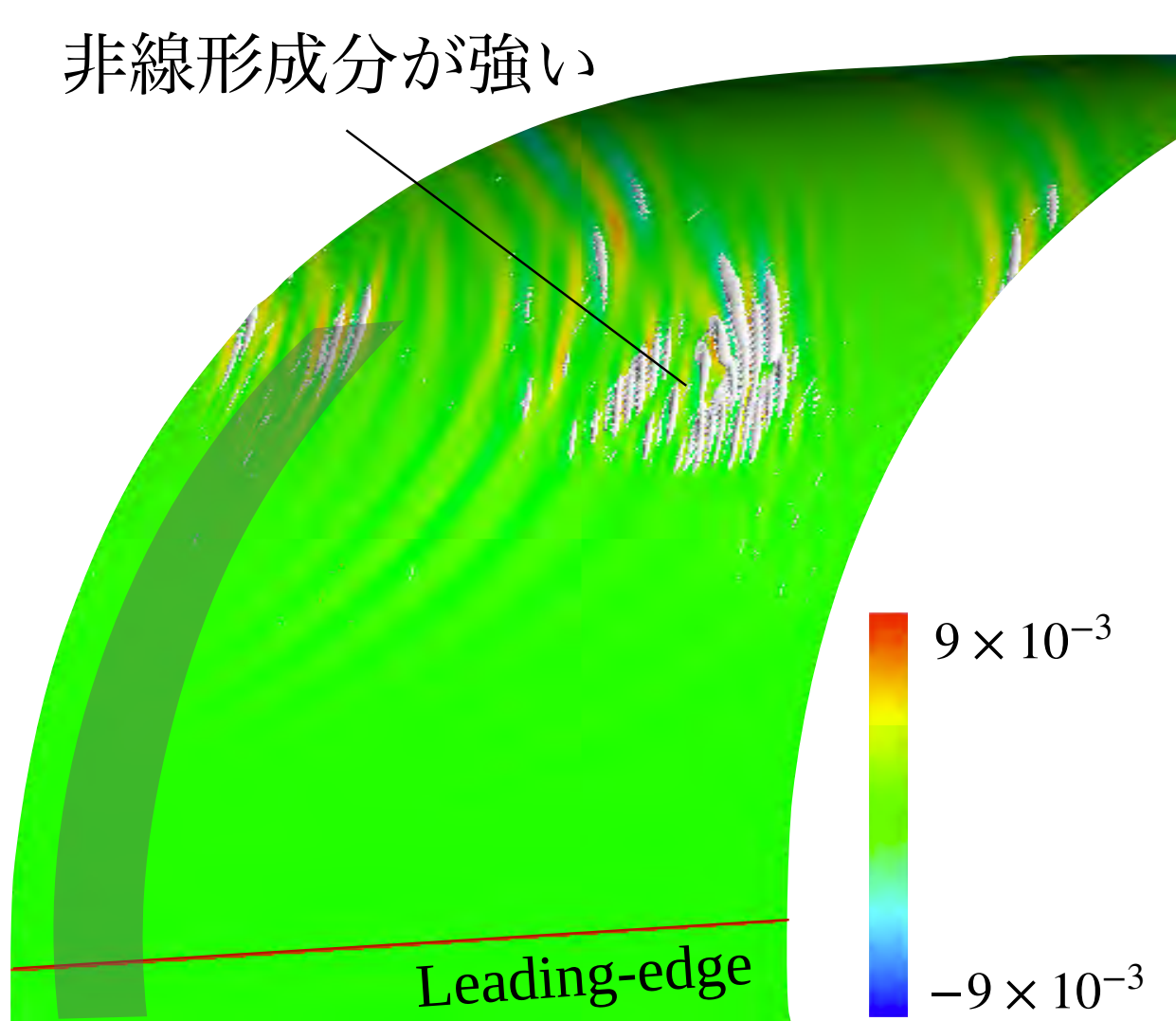
● 後退翼まわり大規模直接数値計算



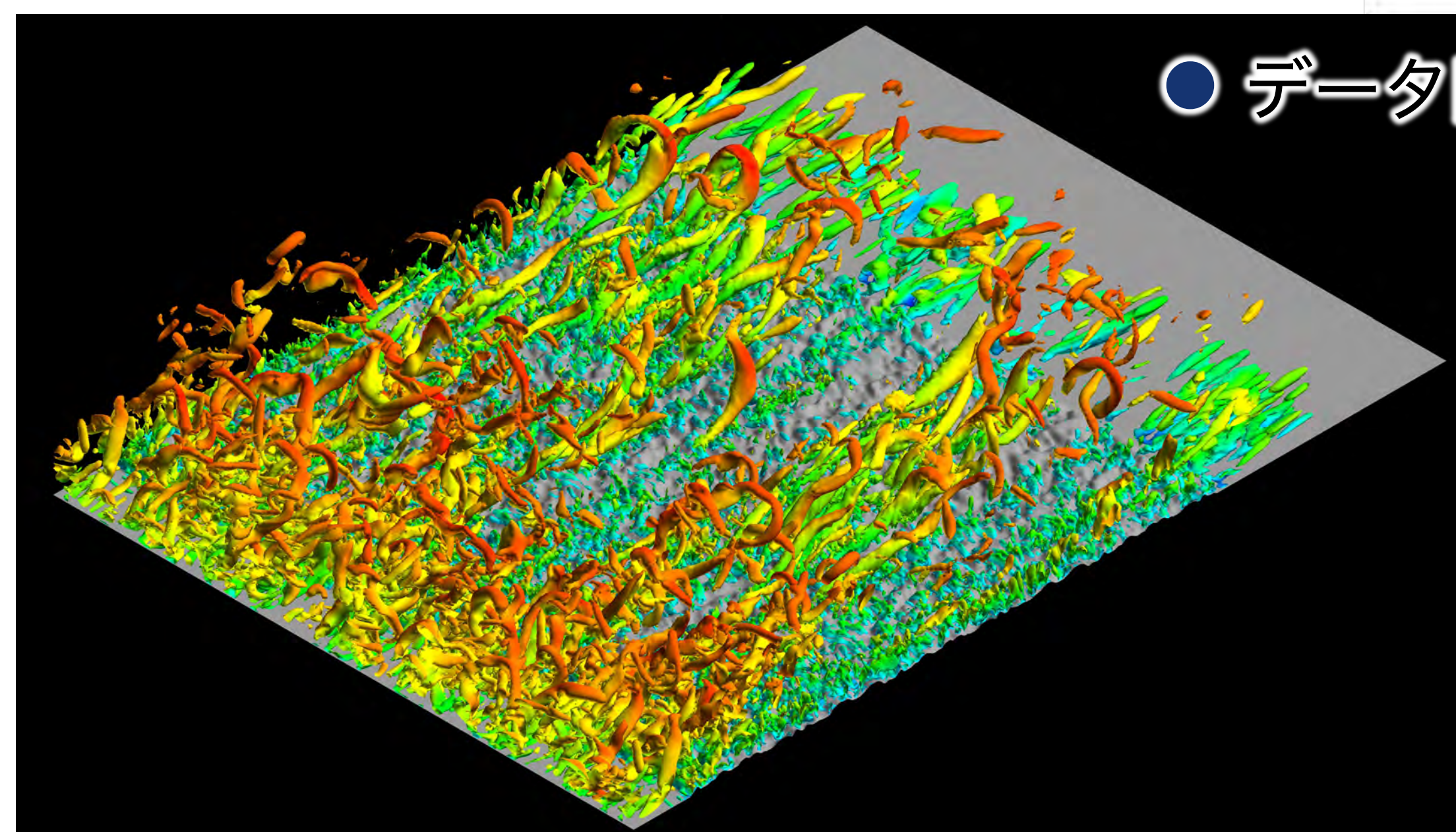
● 感度解析による最適な観測地点の探索 や上空の晴天乱気流の発生予測



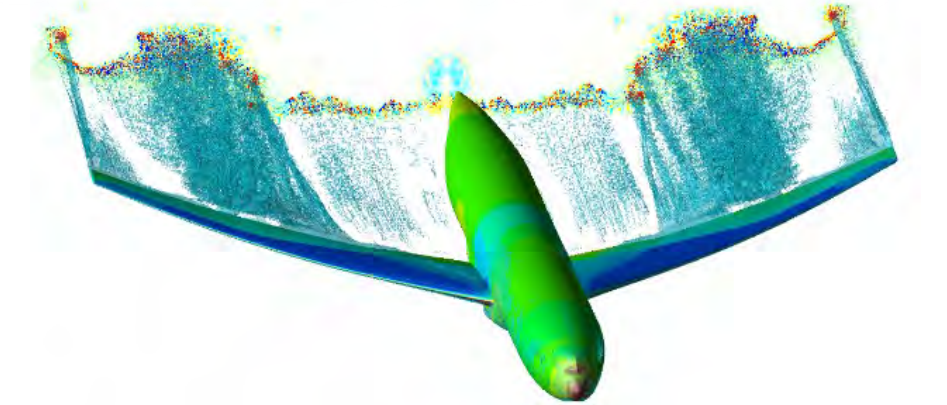
● 後退翼前縁と三次元境界層の全体安定性解析



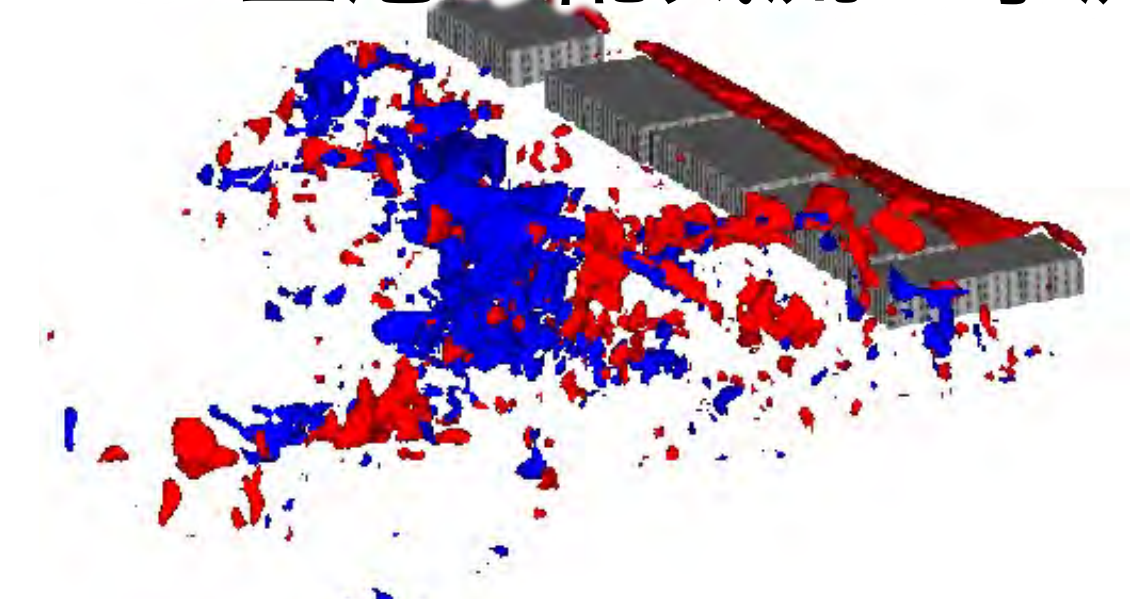
● 微小壁面粗さの抵抗低減効果の検証



● データ同化を用いた乱流モデルの開発

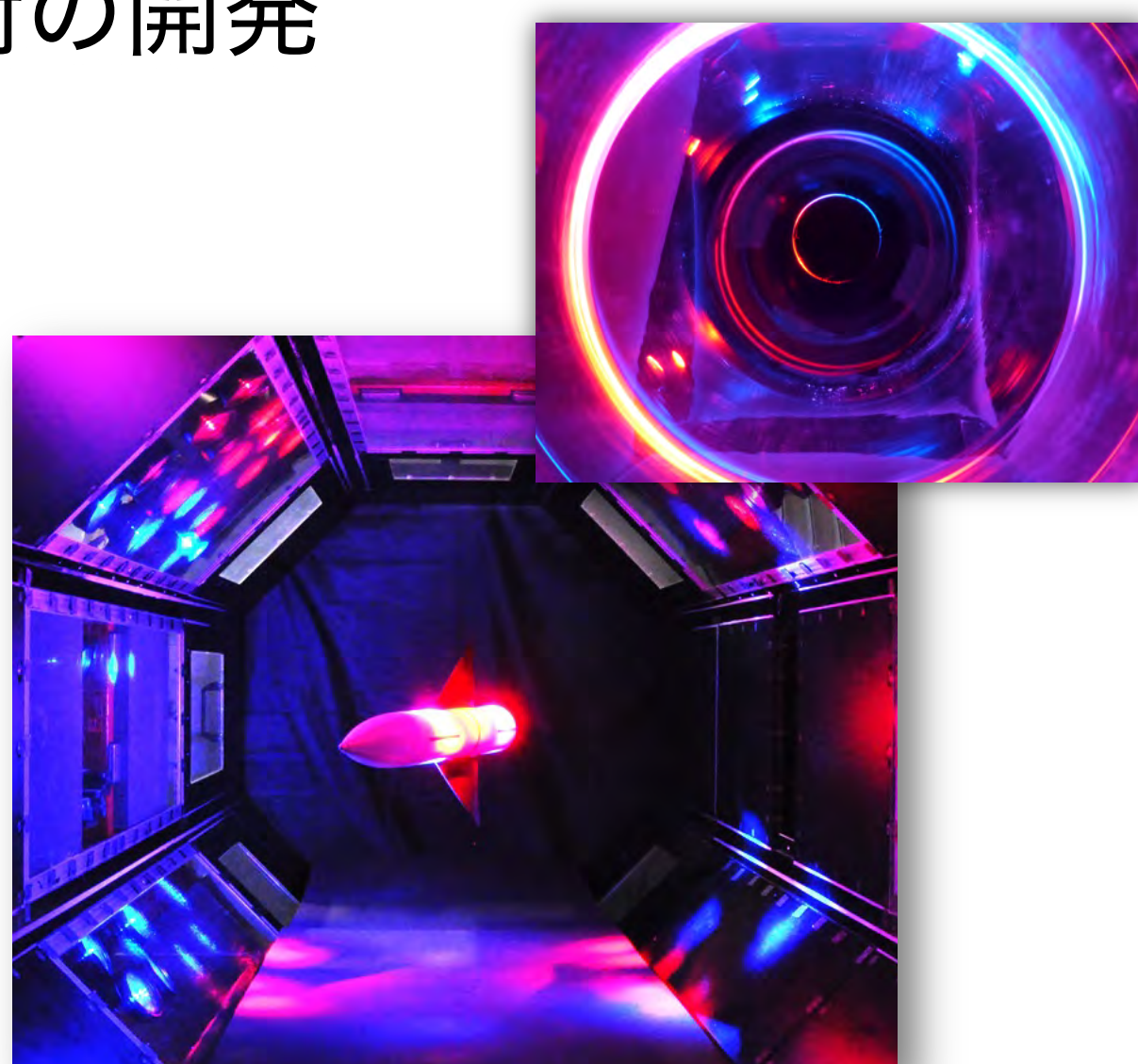
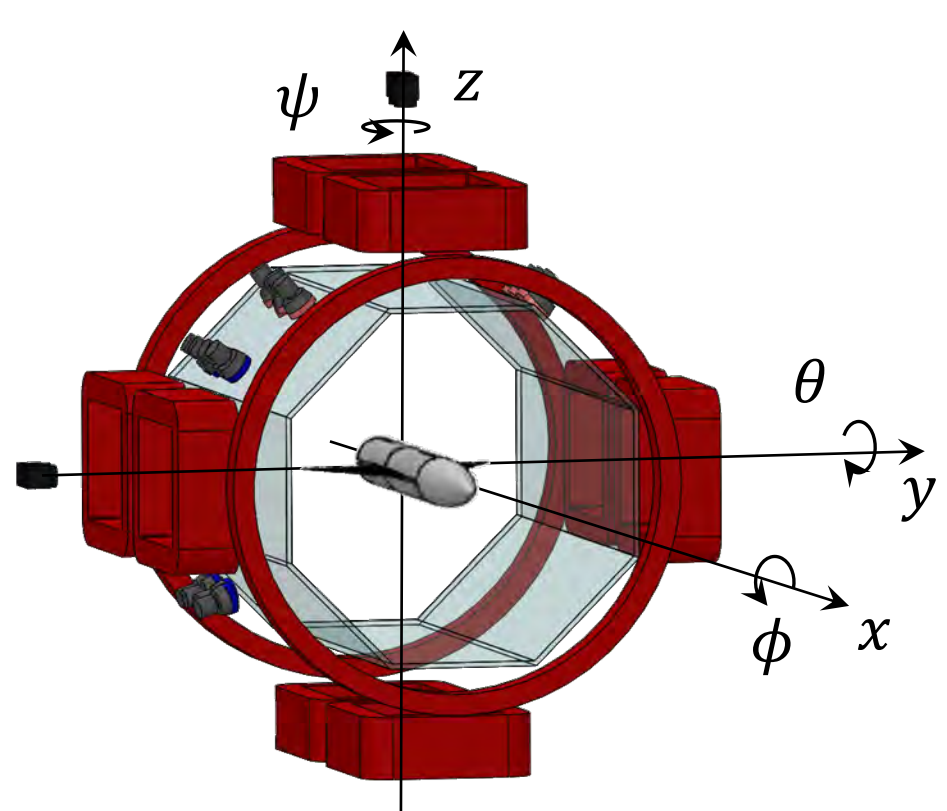


● 空港の乱気流の予測

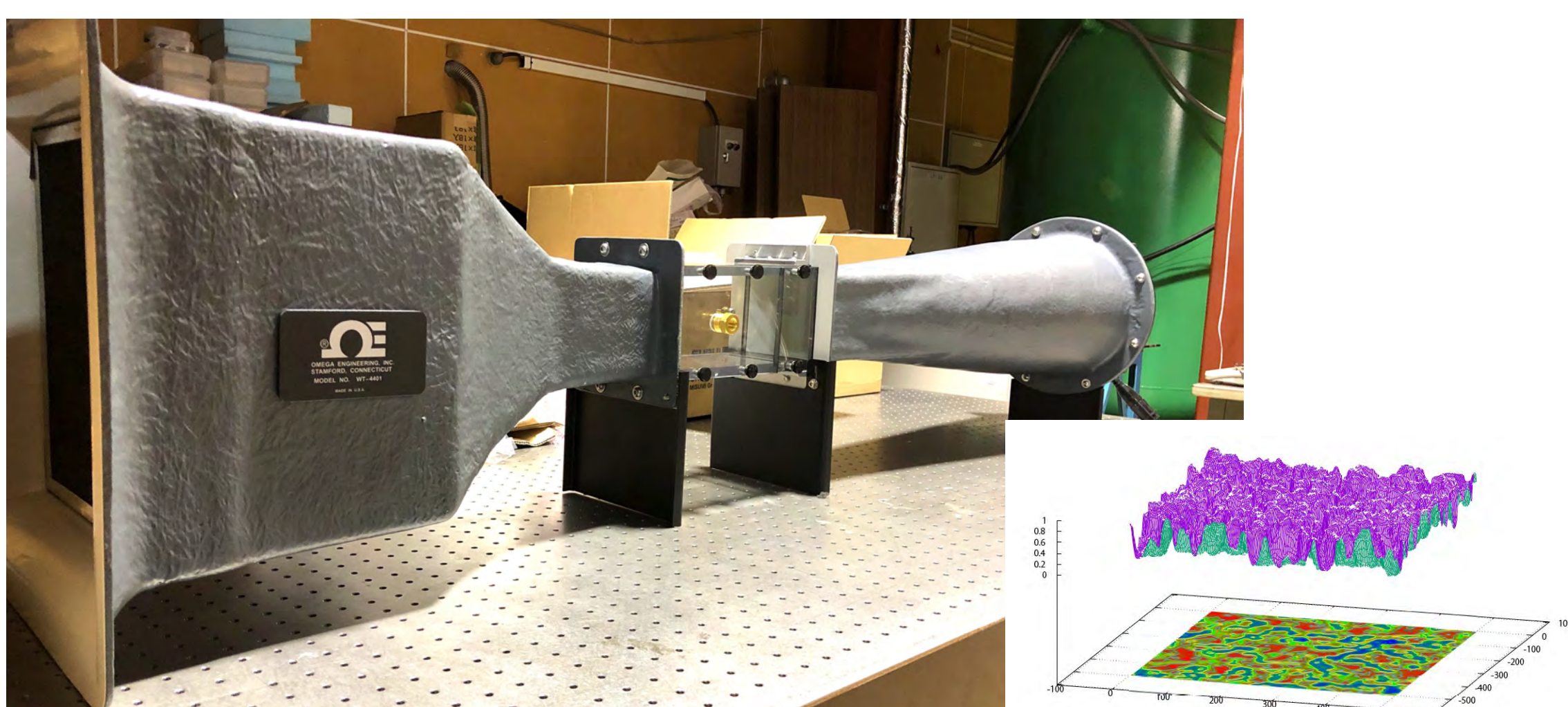


磁力支持天秤装置/層流化風洞試験

● 磁力支持天秤装置(MSBS)を用いた 非定常空力測定技術の開発



● 摩擦抵抗低減のための表面粗さに関する研究



研究室生活

● 研究室で議論し研究を進めます。定期的にゼミがあるので、そこで進捗状況を報告します



研究スタイルは人それぞれ！

● よい成果を出して、国際会議で発表したり国際学術誌へ投稿を目指しましょう！海外研究機関へのインターンシップも積極的に応援します

● 世界最大規模の航空機会社ボーイングのエクスターンシップに参加すると、シアトルにある工場の見学に行くことも

